

自治体アンケート調査にもとづく日本における諸都市の国際化の現状

九州大学 正会員 梶田 佳孝 九州大学 フェロー 桥木 武

1. はじめに

都市の国際化を推進し、国際都市として発展するには、それぞれの都市の個性と民族性を保持しつつ、多様な民族文化を融合させ、民族間の交流を形成することである。また、国際的な視野で発生する都市活動、都市づくりの基本的な共通課題に対処しながら、都市発展を目指すことが求められる。しかしながら、都市の国際化は、それぞれの都市において異なっており、都市の国際化の内容とその相手により合理的な判断が必要である。

本研究は、国際化に関して日本の各都市が、どのような方向性や考えを持っているのかを意識調査し、各都市がいかに国際都市への脱皮を図ろうとしているのかを明らかにせんとするものである。

2. アンケート調査の概要

日本の諸都市の行政担当者を対象に、都市の国際化に関するアンケート調査を行った。調査票は平成10年7月7日～8月10日にわたり配布をした。配布、回収とも郵送による方式を採用したが、有効回収枚数は57枚で、有効回答率は67.1%である。質問項目は①街づくりの重点施策②国際化、国際交流及び国際連携に対して特に期待すること③国際化、国際交流及び国際連携を推進するまでの不安や問題④各都市が国際化、国際交流及び国際連携で着手する分野であるが、

表-1 国際化、国際交流及び国際連携に対する期待

国 際 化	I-1 国内外の学術機関の誘致	1.2%	国 際 交 流	II-11 外国の研究機関等との相互交流	3.3%
	I-2 留学生受け入れ体制の充実	9.1%		II-12 国際交流の体制づくり	11.8%
	I-3 連絡会議の設置	5.3%		II-13 海外都市との友好関係確立	13.8%
	I-4 相談窓口の設置	15.2%		II-14 國際会議、イベント等の誘致	2.8%
	I-5 サインシステムの導入	3.7%		II-15 コンベンションの誘致	0.4%
	I-6 住宅の整備	0.8%		II-16 市民ボランティアの育成・支援	19.5%
	I-7 就労環境の整備	1.6%		II-17 國際交流に関わるシステム確立	11.4%
	I-8 技術者・労働者の受け入れ体制	1.2%		II-18 通訳等の市民による協力体制づくり	3.3%
	I-9 文化人の受け入れ体制	1.6%		III-1 観光資源の整備・充実	9.7%
	I-10 住環境整備や国際都市イメージ確立	20.2%		III-2 海外における観光PR等	4.8%
	I-11 個性ある街づくりの推進	5.3%		III-3 国際的共同研究	8.6%
	I-12 国際水準の居住空間づくり	0.4%		III-4 海外技術協力推進体制の整備	8.6%
	I-13 国際理解教育、外国语教育の充実強化	17.3%		III-5 研究開発機能の拡充・強化	4.8%
	I-14 市民の国際理解	15.2%		III-6 主要支援組織の整備	5.4%
	I-15 國際的な開発プロジェクト	1.6%		III-7 NGO支援システムの構築	11.3%
国 際 交 流	II-1 空港の機能強化	0.8%		III-8 保険医療に対する多言語化	7.0%
	II-2 國際線の新設、路線拡充	2.8%		III-9 医療技術者の派遣	1.6%
	II-3 國際的な航空貨物機能の導入促進	0.4%		III-10 技術協力と運動した物資協力	3.2%
	II-4 國際貿易港の整備促進	1.6%		III-11 地球規模の環境問題の解決	14.5%
	II-5 國際的な物流拠点	2.0%		III-12 自然・生活環境問題への取り組み	10.8%
	II-6 空港、港のアクセス強化	3.3%		III-13 物資の輸送	1.6%
	II-7 コンベンション等の整備推進	6.9%		III-14 自然災害による物資の輸送	4.8%
	II-8 中核都市機能の充実・強化	4.1%		III-15 國際的な金融システムの整備	1.6%
	II-9 情報拠点機能の強化	4.5%		III-16 工場誘致	1.6%
	II-10 情報基盤の整備	7.3%		III-17 大規模小売店の誘致	0.0%

ここでは、②に関して分析を行い、都市が国際化、国際交流及び国際連携に対し、どのような意識や考え方を持っているかを明らかにするものである。

対象都市は各都道府県の県庁所在都市及び人口30万人以上の都市、それに九州の地域中心都市を加えた85都市である。これは、国際交流の効率的な推進にはある程度の規模が必要であることや30万人未満の都市が全都市の90%を越えているためである。また、都市の国際化とは、狭義の国際化、国際交流及び国際連携に分けることができる。すなわち、国際化とは、都市の諸施設や活動内容、規則等を国際基準に合わせることである。国際交流は国際的に人や物、情報があふれ、相互理解を深めながら交流することである。さらに、国際連携は都市における活動に関して国際的なネットワークを組み立て、お互いの連携を図ることである。

3. 国際化、国際交流及び国際連携に対する期待

まず、国際交流及び国際連携に対して興味を持っているかどうかという質問に関して、国際交流では、57都市中55の都市(96.5%)が、国際連携に関しては、49の都市(86.0%)が興味を持っていると答えている。これらのことから、ほとんどの都市が国際交流及び国際連携に興味を持っていることが理解できる。次いで、各都市が国際化、国際交流及び国際連携に対する期待

を項目別に集計すれば表-1が得られる。各都市が国際化により期待する主な項目は、「住環境整備や国際都市イメージの確立(21%)」、「国際理解教育、外国语教育の充実強化(20%)」等があげられる。これらは、国際化に対応した街づくりと国際化社会を担える人材育成を重要視している内容であるといえる。

国際交流に対して期待する主な項目は、「市民ボランティアの育成・支援（20%）」、「海外都市との友好関係確立（14%）」等があげられ、国際交通基盤、情報通信基盤などのハード面より、交流ネットワークや市民参加などのソフト面が重要視されている。これは、市町村という地方自治体の立場で、経済及び能力的にもハードの整備は無理があるとの認識を反映した意見と推察する。

国際連携に対して期待する主な項目は、「地球規模の環境問題の解決（15%）」などであり、環境問題への取り組みを重要視しているといえる。これは、地球温暖化防止会議が開催されるなど、地球規模の環境問題が話題となり、これを解決するには世界各国の協力が必要であると認識しているためと考える。

4. 国際化、国際交流及び国際連携に対する期待からみた都市の類型化

各都市により国際化の推進内容は異なっている。そこで、国際化、国際交流及び国際連携に対してどのような期待を持っているかをこれらの期待にもとづく都市の分類により大まかに把握した。具体的には、アンケート調査によるデータをもとに、数量化三類、クラスター分析を用いて、まず、国際化、国際交流及び国際連携の3タイプについて分類を行った。さらに、それぞれの分類の数量化三類スコアを用いてクラスター分析により総合的な分類を行った。ここでは、紙面の都合上、総合分類のみについて結果を示せば、表-2, 3に示す13グループが得られた。ここで、国際化、国際交流及び国際連携に対する期待は、グループごとにそれそれに対する期待において項目別の合計で最も多いものを示している。グループ3では、国際的なサインシステムの導入、海外における観光PRが期待されている。これらのグループは人口、産業規模においてさほど大きくない地方中心都市であるが、観光により多くの外国人観光客を呼び込みたいとの意識であると考えられる。また、グループ6では、国際貿易港の整備推進に期待している。これらの都市は港を抱え、機能強化を図ることにより、経済交流を活発化したいと考えられる。グループ7に属する京都では、多くの外国人観光客が訪れる国際的な観光都市として国際連携において観光資源の整備・充実に期待している。

5. おわりに

本研究では、日本の主要都市が国際化、国際交流及

び国際連携に関して、どのような期待を持っているかをアンケート調査にもとづいて検討を行った。

結果として、多くの都市が、国際化においては、住環境の整備及び国際都市イメージの確立や国際理解教育、外国语教育の充実を図り、また、そうすることにより国際交流としての市民ボランティアの育成・支援を推進し、地球環境問題の解決などにおいて国際連携を目指すといった構図であることがわかった。

また、大まかではあるがそれぞれの都市における都市の国際化に対する期待の相違を把握することができた。

表-2 総合観点からみた都市の分類

グループ	都市名												
1	札幌	長崎	浜松	高松	宇都宮	高知	横須賀						
2	大阪	鳥取	山口										
3	新潟	岡山	松山	久留米									
4	静岡	岡崎	豊田	東大阪									
5	秋田	甲府	水戸	船橋	松江								
6	豊橋	下関	大分										
7	京都	徳島	佐賀										
8	長野	前橋	熊本										
9	町田	別府											
10	相模原	岐阜	枚方	福山									
11	仙台	豊中	川越	福島	川口	所沢							
12	金沢	横浜	津	西宮									
13	柏	吹田	八王子	藤沢									

表-3 各グループの国際化、国際交流及び国際連携に対する期待

グループ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13
都市数	7	3	4	4	5	3	3	3	2	4	6	4	4
I-2		○					○						
I-3								○					
I-4				○	○		○			○			
I-5		○											
I-6									○				
I-7									○				
I-10	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		
I-13		○	○	○	○	○			○		○		
I-14	○					○				○	○		
II-4							○						
II-6									○				
II-7	○						○	○					
II-9	○						○						
II-10							○	○					
II-12							○	○					
II-13	○	○					○	○					
II-16	○	○	○				○	○	○	○	○		
II-17							○		○				
III-1								○					
III-2		○					○						
III-3		○											
III-4	○						○						
III-6									○				
III-7	○									○			
III-8			○						○				
III-11	○	○					○		○				
III-12										○	○		

参考文献

- (財)福岡都市科学研究所：福岡の国際交流に関する研究報告書，1999.3